

令和3年度全国学力・学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の調査結果について

(第3学年)

1学期に実施しました全国学力・学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の本校の分析結果をまとめましたので、お知らせします。

なお、本調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的としています。調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

【国語】

○目標値に達している項目

- ・「話すこと・聞くこと」
- ・「書くこと」
- ・「読むこと」
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

○課題のある項目

- ・特になし

○対策

ほぼすべての項目において、全国平均を上回るもしくは全国平均程度で、全体的におおむね良好です。ただ「記述式」の正答率は6割弱と、文章を書く力をつけていく必要があります。授業の中で目的に即して文章を書く練習をさらに充実させ、書く力を伸ばしていきます。

【数学】

○目標値に達している項目

- ・「図形」
- ・「資料の活用」

○課題のある項目

- ・「数と式」
- ・「関数」

○対策

図形、資料の活用においては、全国平均を上回るもしくは全国平均程度で、良好な結果です。数量や図形などについての知識・理解については基本的な力がついています。ただ、数と式、関数については、十分に定着できていないところも見受けられます。問題演習の時間を十分に確保するとともに、自分の考えを書いてまとめ、整理して説明する機会をとることができるよう、授業改善に取り組んでいきます。

【生活・学習習慣】

自分の気持ちを家の人、先生が分かってくれようとしていると感じている生徒が多く、自分にいいところがあると感じることにつながっているようです。学校でのさまざまな活動の中で、がんばっている姿を全体に大きく知らせたり、声かけを積極的に行ったりすることで、さらに意欲を高めていきます。

また、いままでで心から感動したことがあると感じていることがかなり高くなりました。そういう体験ができたことは非常に喜ばしく思います。意見が合わなかったとき、納得できる方法を考えて提案したりすることは意識が高まりました。これからも普段の授業や取組の中で、お互いの意見を言い合ったり、認めあったりする雰囲気になるよう声かけ等を行っていきます。

ただ、夢中になった、勉強がおもしろいと思ったという経験は今後の課題です。生徒の前向きな気持ちを生かしつつ、進路実現に向けて、さらに授業改善に取り組んでいきます。